



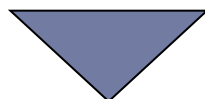
教育改善への取り組みと教学評価体制 の構築状況

進捗報告

玉川大学が目指すもの

Tamagawa Vision 2020

- 2011年に10年後を見据え、「教育・研究の質保証」をキーワードに策定



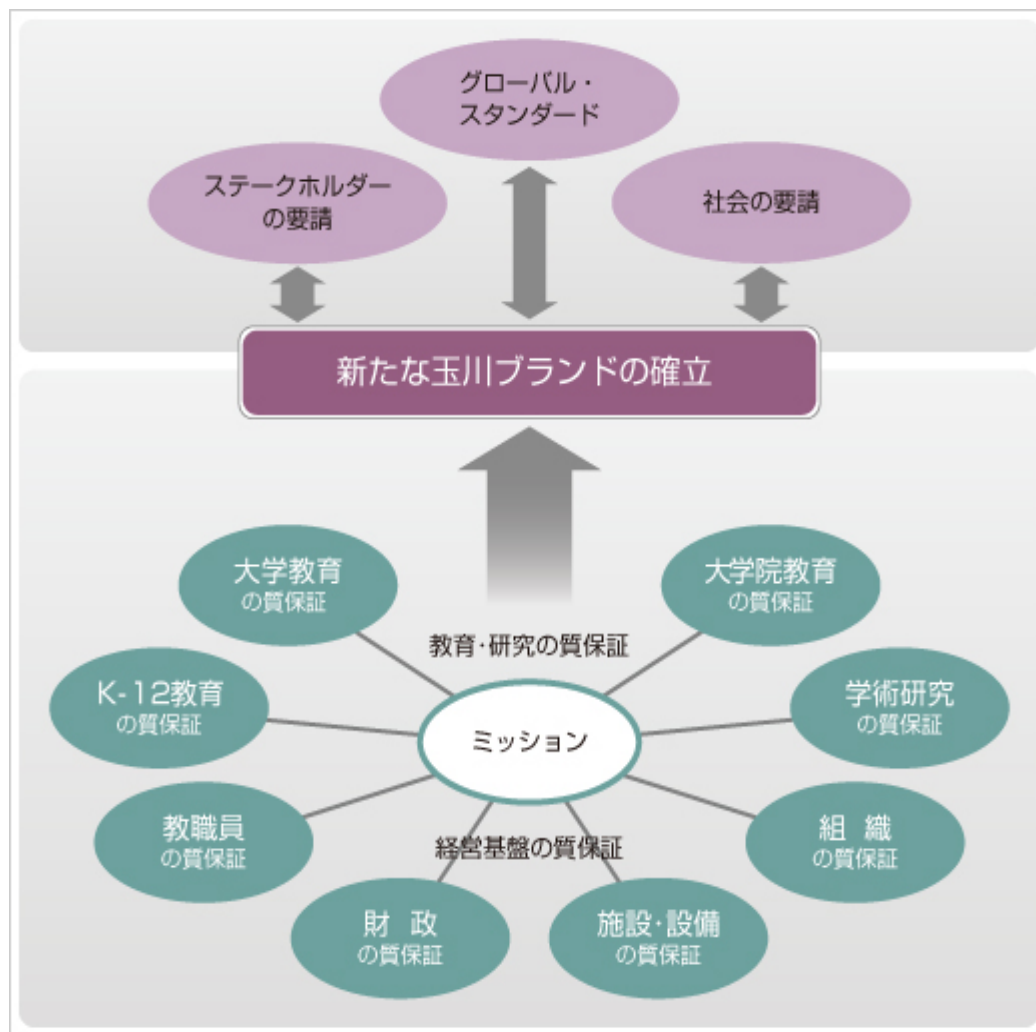
新たな玉川ブランドの確立と、社会の要請に応える教育を推進

Tamagawa Vision 2020

ミッション

学校教育法の第一条に定めている学校としての責務を果たし、国際的な通用性と信頼性を踏まえ、時代と社会のデマンドに応える質の高い教育・研究を行う。

そのために「全人教育」を教育理念の中心として、真（学問）・善（道徳）・美（芸術）・聖（宗教）・健（健康）・富（生活）の6つの価値を教育思想の中核に据え、失敗を恐れずに難関に挑戦していく「人生の開拓者」を輩出する。



大学教育の質保証

1. 教育活動における数値目標・指標の設定と国際的評価の対応
2. 教授主義から修得主義への転換
3. 国際教育・交流の充実と英語力の強化
4. 客観的根拠に基づく実践・体験型教育の推進
5. 教職課程における教員養成の充実
6. 教員の教育力の向上
7. 学生の活性化に繋がる支援の充実と学習支援の強化

大学教育の質保証

- 8. 就職力向上のための支援の充実
- 9. 高大連携およびK-16としての連携強化
- 10. 社会貢献活動の推進と卒業生との連携強化
- 11. 学士課程の検証と更なる体制強化

2011-2013	2014-2016	2017-2019	2020
フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
具体的施策・達成目標 ⇒ Action Plan			レビュー

これまでの教学改善への取り組み

- ① 単位の実質化に向けて、履修登録上限単位数を半期16単位へ変更
- ② 全学部の卒業要件に累積GPA2.00以上を付加
- ③ GPAによる学修警告制度の実施
- ④ 全授業科目において、通常のシラバスに加え、学修指導書となるシラバスを追加作成
- ⑤ 学生ポートフォリオの導入
- ⑥ 授業外学修時間を確保するための時間割の工夫
- ⑦ 授業科目のナンバリング
- ⑧ 本学における学士力（コンピテンシー）の策定
- ⑨ アクティブ・ラーニングの推進
- ⑩ 学修成果の可視化へ向けた取り組み など

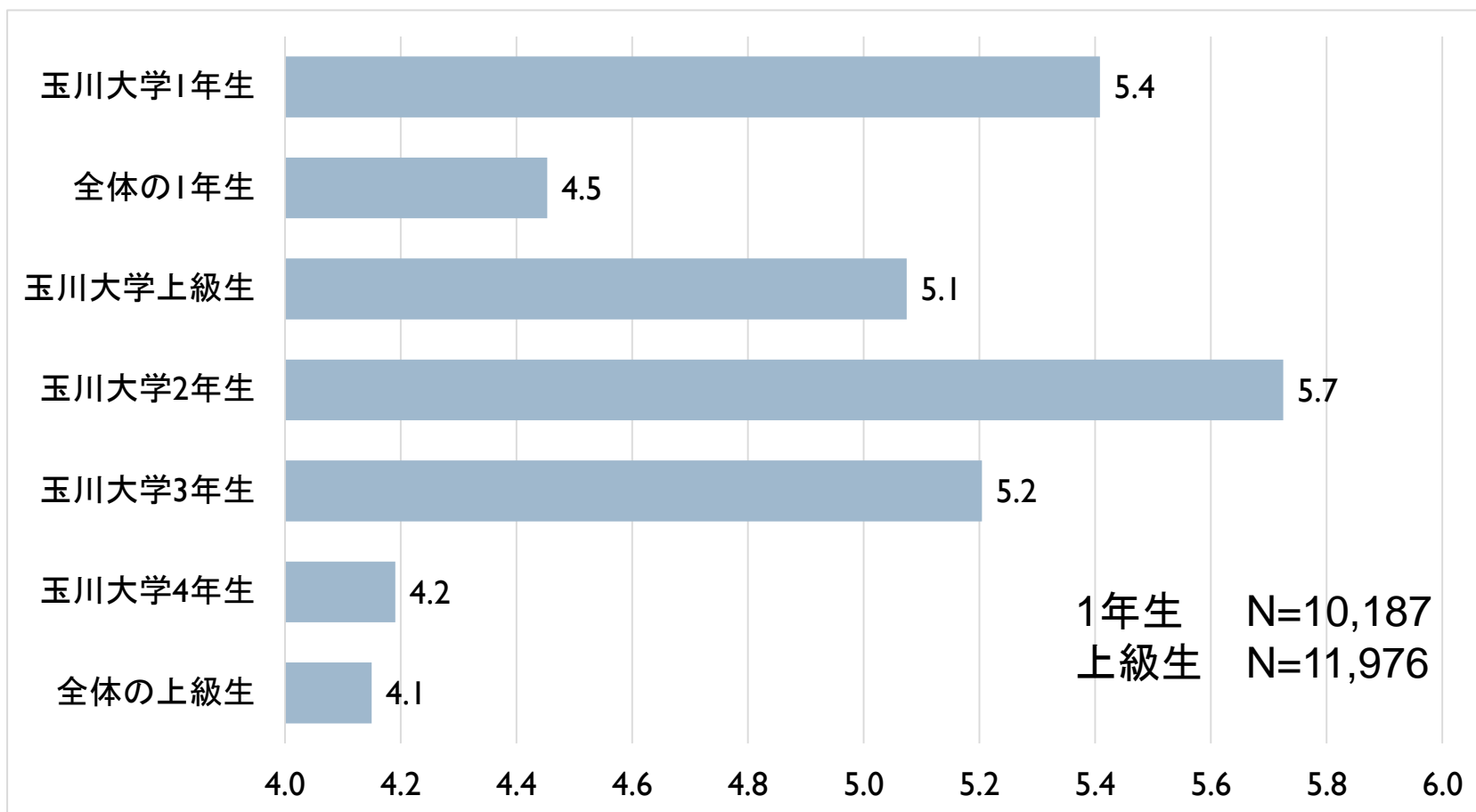
CAP制16単位を導入して

CAP制20単位と16単位の1年次におけるGPA比較

2012年度入学生 CAP制20単位		2013年度入学生 CAP制16単位		2014年度入学生 CAP制16単位	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
2.58	2.60	2.75	2.62	2.67	2.72

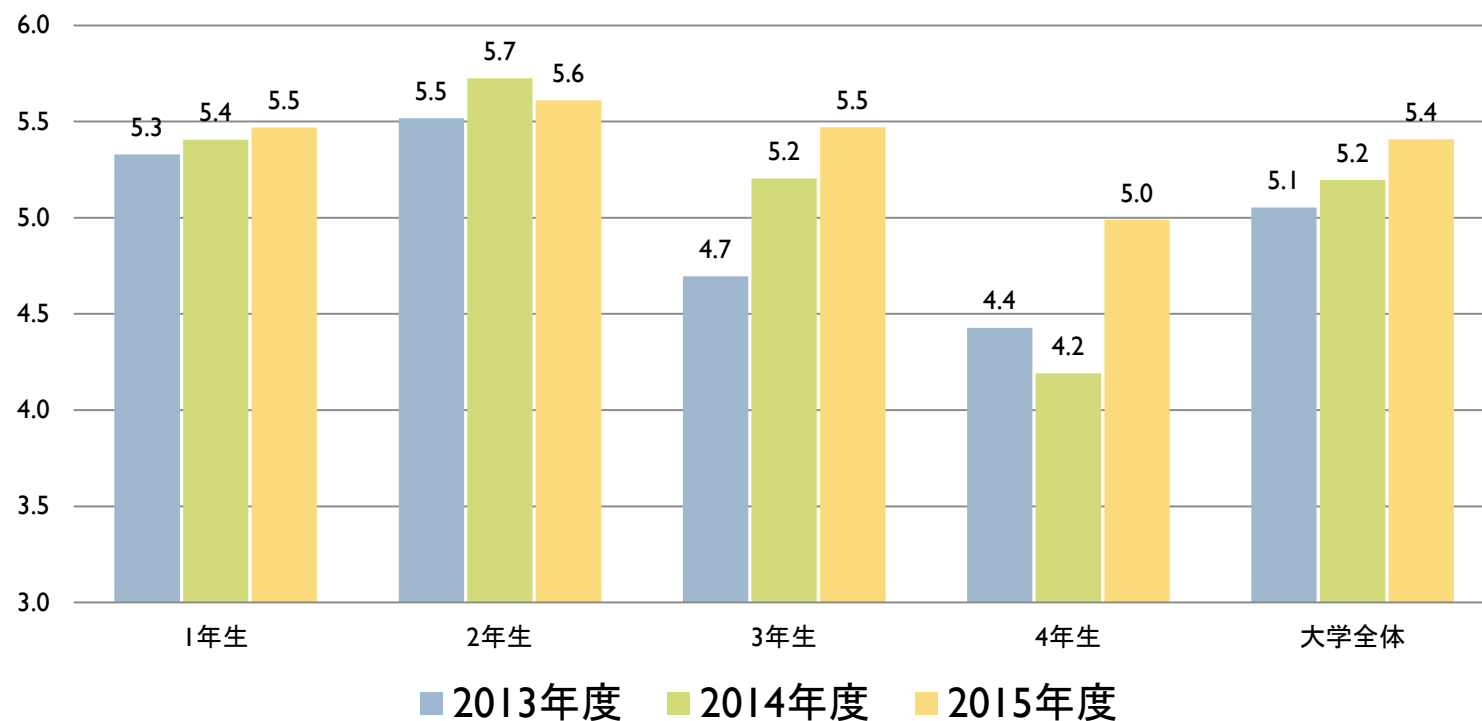
授業時間外学修 (2014年度 8大学との比較)

週あたりの活動時間: 授業時間以外に、授業課題や準備学習、復習をする(学年別平均時間)



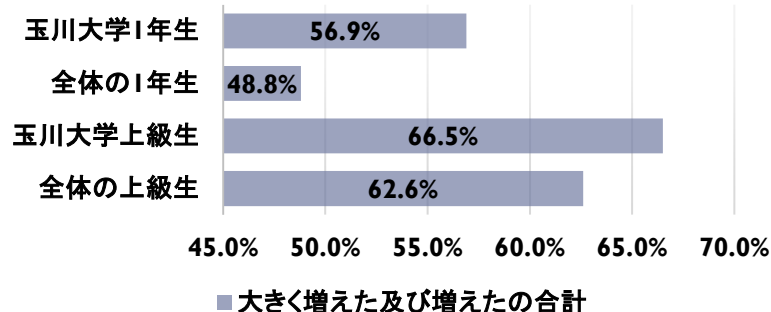
授業時間外学修（2013～2015年度の比較）

週あたりの活動時間：授業時間以外に、授業課題や準備学習、復習をする(学年別平均時間)

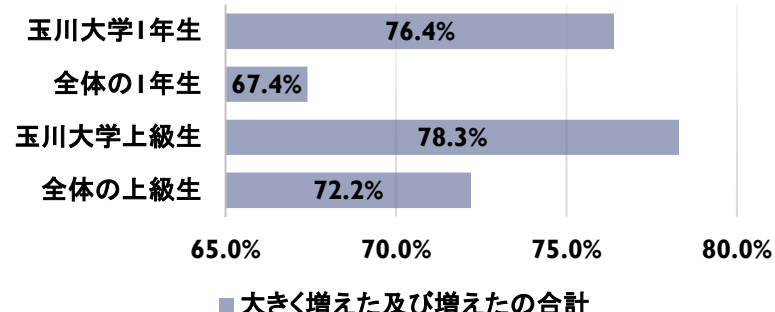


入学後の知識・能力の変化

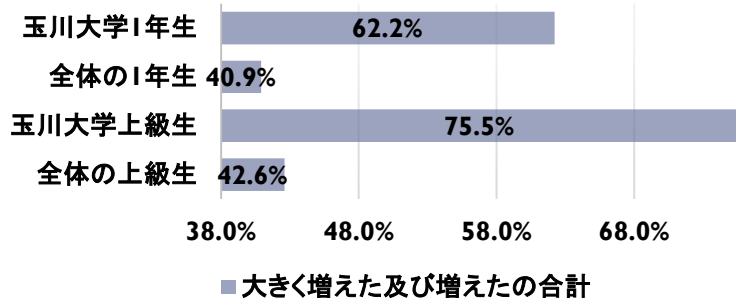
文章表現の能力



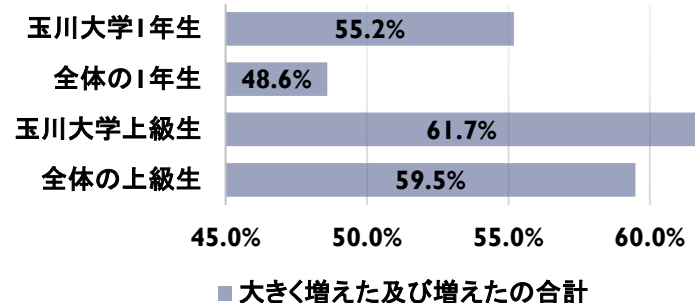
コンピュータの操作能力



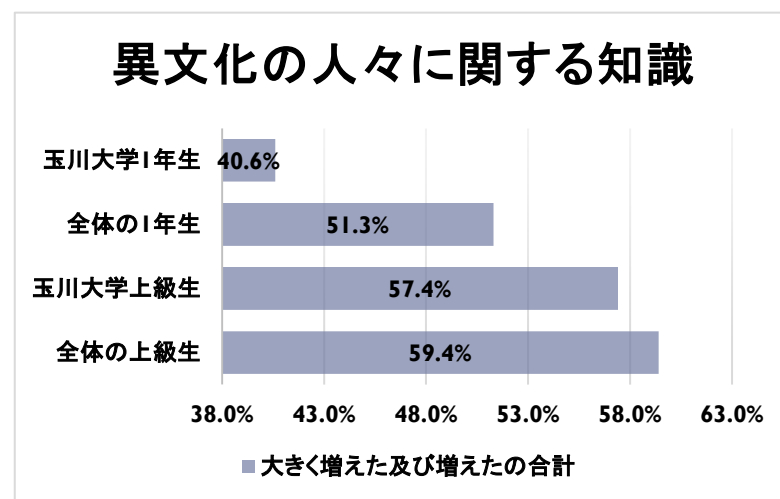
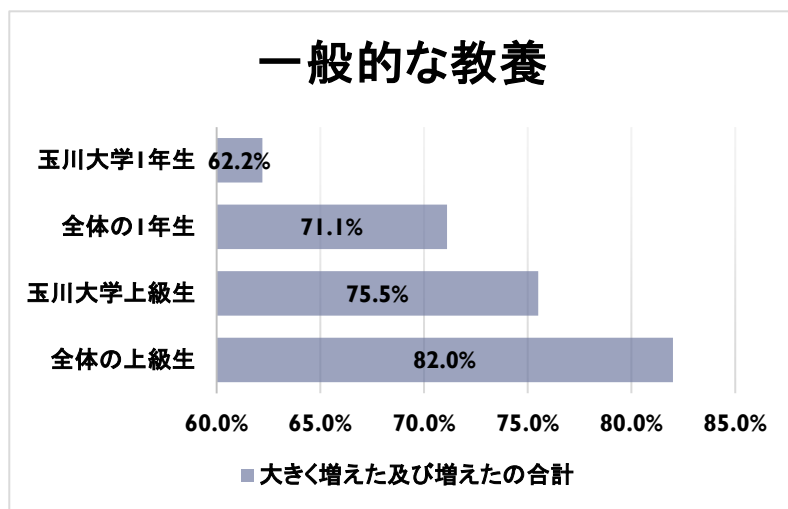
外国語の運用能力



時間を効果的に利用する能力



入学後の知識・能力の変化



教学支援組織の強化

- ▶ 2015年度より、教学部に教育学修支援課を新設
 - ▶ 専任職員 9名、パート 7名
 - ▶ 大学の教育改革推進
 - ▶ ラーニング・コモンズ、ITサポートデスクの管理・運営
 - ▶ 移行教育（高大接続・初年次教育・2年次教育・3年次教育・編入生教育・キャリア教育）の研究と実践
 - ▶ FD（Faculty Development）の推進
 - ▶ TA・SA等の採用・運用
 - ▶ ICT技術、マルチメディア教材を利用した教育・学修支援、コンテンツ開発、環境整備 など

教学支援組織の強化

- ▶ ラーニング・コモンズに学修支援の専従スタッフを配置
 - ▶ 専任教員 2名
 - ▶ 非常勤教員 6名
 - ▶ 事務職員(派遣) 1名
- ▶ アカデミック・スキルズ全般の指導
 - ▶ ライティング
 - ▶ プレゼンテーション
 - ▶ レポート作成講座
- ▶ 語学学修指導
- ▶ 会計学(簿記・BATIC)学修指導
- ▶ ITサポート

意思決定に向けた審議プロセス

